

都市再生整備計画

さいじょうえきしゅうへん
西条駅周辺地区

ひろしま ひがしひろしま
広島県 東広島市

令和6年3月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	広島県	市町村名	ひがしひろしま 東広島市	地区名	さいじょうまき しゅうへん ちく 西条駅周辺地区	面積	36.1 ha
-------	-----	------	-----------------	-----	-----------------------------	----	---------

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度	交付期間	令和 6 年度 ~ 令和 10 年度
------	--------------------	------	--------------------

目標

広島県中央地域の中核的都市として、広域的な拠点性の向上を図る。
 目標1: 魅力ある中心市街地の形成(都市機能の集積、賑わいの創出)
 目標2: 中心市街地における回遊性の向上(交流・観光の活性化)
 目標3: 交通結節点機能の強化(駐輪場機能の集約)

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 本市は、昭和49年に市制施行されて以降、広島県の中央拠点として急速に発展してきた。中心市街地の人口は現在も増加を続けているが、その傾向は鈍化しており、市街地が低密で外延的に拡散していることから、中心市街地の都市機能や地域活力の低下が懸念される。
 西条駅周辺の中心市街地について、高度な都市機能を集積し、全市民に質の高い公共サービスを提供すべき「都市拠点」として位置づけており、近年の状況を踏まえ、中央生涯学習センター跡地において多様なコンテンツを実施できる自由度の高い多目的広場を整備するとともに、中心市街地エリアのデザイン・マネジメントに取り組むことで、魅力的な都心空間を形成し、中心市街地の拠点性の更なる向上を図る。
 あわせて、西条駅利用者が多く駐輪している市役所北館北の市役所北自転車駐車を、西条駅前第一自転車駐車場に統合し、西条駅の交通結節機能の強化を図る。
 さらに、中心市街地の観光資源である酒蔵地区の活用や、周辺道路の整備・美装化等により地区内の回遊性を向上することで、賑わいの創出、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図る。
 公的不動産の活用策としては、駐車場として暫定利用していた中央生涯学習センター跡地を多目的広場として整備し、これまでに整備した芸術文化ホール、美術館、西条中央公園などと一体的に活用していくことで、中心市街地の都市機能の強化を図る。

まちづくりの経緯及び現況

(経緯)
 東広島市は、広島大学の統合移転決定を機に昭和49年に市制施行、平成17年に周辺町と合併した。「賀茂学園都市建設事業(広島大学移転、東広島ニュータウン建設等)」、「広島中央テクノポリス建設(研究機関、産業団地等の集積)」の2つの大型プロジェクトを中心に都市づくりを推進し、国内でも有数の成長都市として発展した。
 計画地区一帯は、古くから山陽道の宿場町として、近年は市の玄関口及び中心市街地として栄えてきたが、前述の大型プロジェクトが市街地の外周部で展開され、計画地区一帯の地域活力が徐々に低下してきた。その対応として次の事業等を実施し、計画地区一帯の人口がこの10年間で約13%増加するなど一定の成果を得た。
 ・西条駅前土地区画整理事業: 施行面積 約7.6ha、施行期間 H6～H23(清算期間5年を含む)
 ・西条岡町みち再生事業: 道路、駐車場等の整備、施行期間 H15～H20
 ・酒蔵地区のまちづくり事業: 散策道、ポケットパークの整備、施行期間 H15～H21(H17～H21 都市再生整備計画事業として実施)
 ・芸術文化ホール、朝日町1号線等の整備: 施行期間 H24～H27(H24～H28 都市再生整備計画事業として実施)
 ・美術館の移転整備、西条本通線の一部美装化: 施工期間 H30～R5(H30～R5 都市構造再編集中支援事業として実施)

(現況)
 前期計画における、美術館の移転整備や西条本通線の一部美装化等により、公共サービスの充実、文化芸術・交流・生涯学習機能の集積が図られた。今後も、本市及び広島県中央地域の都市拠点としての拠点性をさらに高めていくため、中心市街地に活用する自由度が高い多目的広場を整備することで、魅力的な都市空間を形成していく必要がある。また、西条駅前第一自転車駐車場は竣工から年月が経過し、設備等が近年の自転車利用者のニーズに対応できておらず、駅利用者は市役所北自転車駐車場をはじめ、周辺の駐輪場に分散して駐輪している。
 また、整備が未完了である西条本通線美装化や吉行泉線整備に引き続き取り組み、酒蔵地区を中心とする観光資源や、集積する各種施設間の連携強化を図り、中心市街地の回遊性を向上していく必要がある。

課題

都市機能の集積と高度化
 ・沿道型商業地である国道375号沿道に商業機能の集積が進んでいる現状において、中心市街地の空洞化を防ぐため、市民サービスの質の向上、魅力的な都心空間の形成に取り組む必要がある。
 回遊性の向上
 ・計画地区は、歴史的なまちなみや酒蔵が集積する観光地であり、既存商店街の活性化や魅力的なまちなみの形成を進め、観光業の活性化を図っていく必要がある。
 ・集積する都市機能と観光資源が十分に連携できていないことから、市民や観光客で賑わい、各施設間の往来を誘導する交流の場を創出し、中心市街地の回遊性を高めていく必要がある。
 交通結節点機能の強化
 ・中心市街地に点在する駐輪場機能を西条駅前第一自転車駐車場に集約し、西条駅の交通結節点機能を強化することで、市民に、よりシームレスな移動を促す必要がある。

将来ビジョン(中長期)

全市民的な都市活動を支える拠点の形成や、高度で多様なニーズに応える都市機能の充実等により、活気にぎわいのある集約型の都市づくりに取り組む。
 (既存の計画等における記載等)
 ・第五次東広島市総合計画(R2.3)基本構想: 市の中枢を担う広域的な都市の核として、行政・医療・福祉・商業・業務・文化・芸術等の高度な都市機能の集積を生かし、全ての市民に対して質の高いサービスを提供するとともに、本市の顔として都市の魅力にぎわい・活力を創出する。
 ・第五次東広島市総合計画地域別計画(西条町): 西条駅前、ブルーパール沿い、酒蔵通りを核とし、中心市街地にふさわしい都市機能の充実を図るとともに、「歩いて楽しめる」魅力ある都市空間を形成する。
 ・第3次東広島市都市計画マスタープラン(R4.3): 行政機能の充実に加え、商業・サービス機能や芸術・文化・居住機能などの充実を図るとともに、公共施設のバリアフリー化など、安全・安心で利便性の高い都市基盤の整備を推進する。また、本市の玄関口として、西条駅周辺の酒蔵群などの資源を生かしながら、歩いて楽しめるウォークアブルな中心市街地の形成を図り、観光・交流機能の向上を進める。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- ・中心市街地に、市役所庁舎、芸術文化ホール、美術館が建設され、公共サービス機能、文化芸術・交流機能の集積が図られた。本計画で予定している多目的広場の整備等によってにぎわいを創出し、中心市街地のさらなる都市機能の集積を図る。
- ・多目的広場を指定緊急避難場所に指定し、大規模災害時には、人口が集中する中心市街地の一時避難場所として機能する。
- ・市民の利用実態を踏まえ、西条駅前公共駐輪場機能を集約し、交通結節点としての機能強化を図る。
- ・中心市街地の観光資源である酒蔵地区の歴史的建造物の活用や周辺道路の美装化等により、観光・交流機能の向上を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

平成28年の生涯学習機能を移転集約した芸術文化ホールの開業以降、中心市街地のにぎわい創出に向け、中央生涯学習センター跡地の活用策について長年検討を続けてきた。市議会及び有識者や市民を交えた勉強会、ワークショップ等での議論を経て、当該地には自由度の高い、多様なイベントが実施できる、全天候型の多目的広場を整備する、という方針を取りまとめた。中央生涯学習センター跡地において多目的広場を整備することで、中心市街地ににぎわいを創出する起点が形成されるとともに、これまでに整備してきた芸術文化ホールや美術館、西条中央公園、市庁舎、まちづくりセンター等の既存の誘導施設との連携強化による、更なる都市機能の強化も図られる。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

—

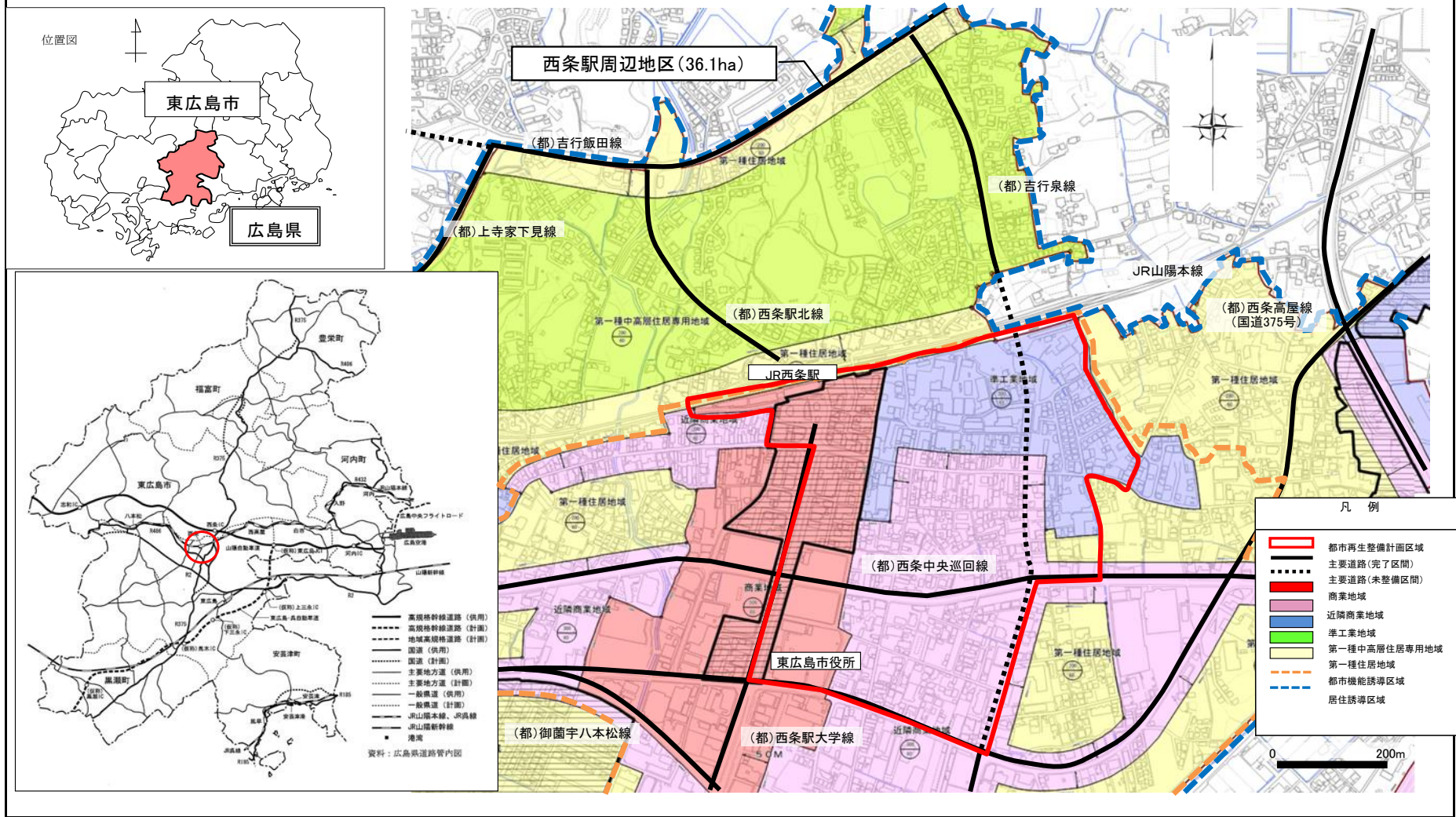
目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
多目的広場の利用者数	人/年度	多目的広場の利用者(イベント利用分)数の調査	都心空間の魅力を表す指標として、多目的広場のイベント利用者数により確認する。	62,890	H30	R10
酒蔵地区の観光客数	人/年度	観光客数の調査(西条酒蔵通り観光案内所の来訪者数による調査、酒まつりを除く)	観光機能の活性化を表す指標として、酒蔵地区の観光客数の増加により確認する。	30,945	R1	R10
西条駅前第一自転車駐車場の利用台数	台/年度	西条駅前第一自転車駐車場の利用台数(自転車及びバイク)の調査	交通結節点の機能強化を表す指標として、西条駅前第一自転車駐車場の利用台数により確認する。	758,077	R1	R10

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○魅力ある中心市街地の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地において、市民のにぎわいを創出するため、多様なコンテンツを実施できる自由度の高い多目的広場を整備する。 多目的広場を核とした、中心市街地の活性化に向けた、エリアデザイン、マネジメントに取り組む。 学生活動を中心としたにぎわいを創出するため、学生の活動拠点を整備する。 地域共生、市民協働を推進する拠点となる新施設を整備する。 	<p>多目的広場整備(基幹事業:地域生活基盤施設) エリアデザイン講演会の実施(提案事業:まちづくり活動推進事業) エリアマネジメント推進方策の策定(提案事業:まちづくり活動推進事業) 新設イベントの開催支援(提案事業:まちづくり活動推進事業) 町家プロジェクト(関連事業) 新施設(地域共生、市民協働拠点)整備(関連事業)</p>
<p>○中心市街地における回遊性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 良質な景観を形成し、酒蔵地区を含めた中心市街地の回遊性を向上させるため、西条本通線の道路美装化を行う。 西条駅南北の交通アクセス向上のため、吉行泉線を整備する。 酒蔵地区内の観光、文化の新たな拠点として、大黒蔵の保存活用について検討する。 	<p>西条本通線美装化(基幹事業:高質空間形成施設) 吉行泉線整備(基幹事業:道路) 大黒蔵保存活用(関連事業)</p>
<p>○交通結節点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者に西条駅でのシームレスな乗り換えを促すため、駐輪場機能を西条駅前第一自転車駐車場に集約し、機能を拡充する。 	<p>西条駅前第一自転車駐車場改築(基幹事業:既存建造物活用事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>○東広島市中心市街地活性化協議会 西条駅周辺地区に含まれる酒蔵通り周辺の空き店舗活用の検討、観光客数の増加に向けた検討など、中心市街地の活性化に向けた検討が継続的に行われている。今後も有識者や商工関係者等の意見を踏まえた施策を検討していく。</p> <p>○酒蔵地区まちづくり協議会 酒蔵地区の持続的なまちづくりについて協議・検討を進めており、今後も地元の自主的な取組みを促していく。</p> <p>○学園都市づくり交流会議 学生の地域活動の支援や拠点づくりなど、学園都市づくりに向けた様々な取組みが行われており、今後も大学をはじめ、商工関係者や文化・教育関係団体とも一体となって施策に取り組んでいく。</p>	

西条駅周辺地区(広島県東広島市)

面積 36.1 ha 区域 西条本町、西条朝日町の全部、西条上市町、西条栄町、西条末広町の一部



西条駅周辺地区(広島県東広島市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	広島県中央地域の中核的都市として、広域的な拠点性の向上を図る。	代表的な指標	多目的広場の利用者数 (人/年度)	62,890 (H30年度)	→	120,000 (R10年度)
			酒蔵地区の観光客数 (人/年度)	30,945 (R1年度)	→	36,000 (R10年度)
			西条駅前第一自転車駐車場の利用台数 (人/年度)	758,077 (R1年度)	→	820,000 (R10年度)

